

第8回みよし未来環境会議

ワークショップ かわらばん

2024年1月6日(土) 13:00~16:10

会場 三次市役所6階601会議室

参加者 神田日向、谷藤拓真、白根瑞紀、梅木亮汰、岩倉伊吹、兒櫻浩介、下岡快成、井上海太

講師 藤山浩（一社）持続可能な地域社会総合研究所

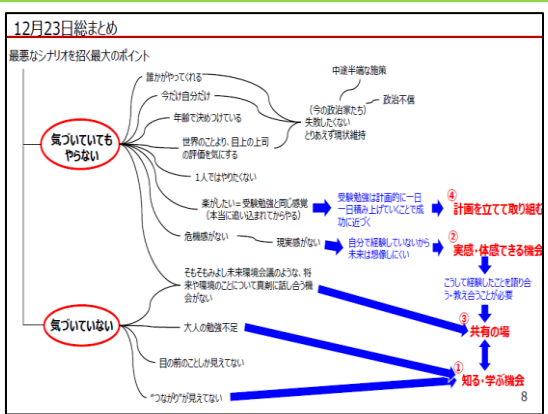
第8回みよし未来環境会議はついに最終回です。これまでの学びの集大成として、「知る・学ぶ機会」「実感・体感できる機会」「共有の場」「計画を立てて取り組む」の4つの取り組みの柱を実現するために、具体的に何ができるか・何をすべきかを考えました。それぞれで考えたアイデアは時間(すぐ、数年内、10年後~)と範囲(地元、三次、より広く)の2軸で分類しながら共有し、アイデアの深掘りをしました。これまでみよし未来環境会議で学んできたことが十分に盛り込まれた計画が出来そうです。

その後1月20日のまちづくり交流会に向けた発表準備を行いました。今までに学んだことや自分達の意見や思い、そして今回出たアイデアをどのように伝えるか考えました。



事務局
藤山氏より

4つの取り組みの柱に沿って、地元から始めていくことの出来る具体的な行動のアイデアをしっかりと提案してもらいました！



ゴールを意識する

最悪のシナリオを回避するために、何が必要かを考えよう。理想の三次の実現に向けた行動を考えていきます。

13:00

13:40



地元から創り直す

三次市の19地区それぞれのまちづくりについて知りました。それぞれの取り組みは違うけれど、熱い思いを持っていることは共通しています。

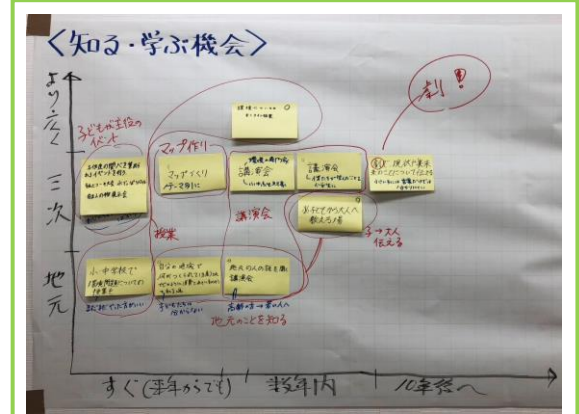


黙々とアイデア出し

最悪のシナリオを回避するための行動を具体的に考え、付箋に書き出します。みんな次々とアイデアを書き出していました。

14:00

16:10



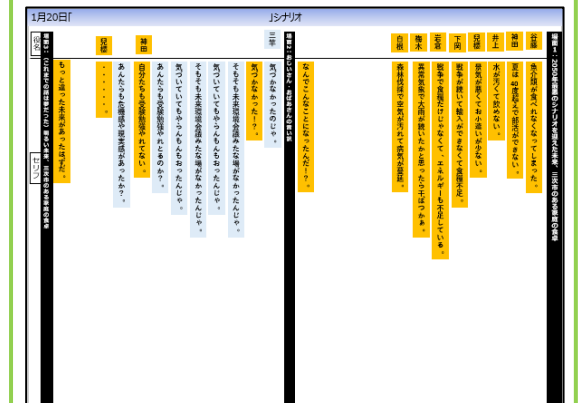
2回目のアイデア出し！

自分だけでなく他の人のアイデアを深掘りしてもっと具体的な行動を考えたり、発展させた新しいアイデアを出したりしました。



アイデアの共有

これまでの会議で学んだことや経験したことが活かされたアイデアがたくさん出ました。「そういうものもあるのか！」と互いに刺激を受けます。



伝える準備

これまでの学びや今回出たアイデアをどう伝えるか？1月20日のまちづくり交流会での発表に向けた準備をしました。

サステナアンバサダーから一言



神田さん

後回しにするとともに大変なことになるため、問題を解決するために必要なのは「今」から始めることです。



谷藤さん

最悪のシナリオを避けられないためにどのような地域を目指していくことが必要なのか理解できました。



白根さん

考えていることを生活と絡めたりすることは難しいと感じた。



梅木さん

問題解決のための具体策を考えるのは難しかったが、皆の意見を聞くうちに楽しく想像できるようになった。



岩倉さん

具体的にどんな取り組みをすれば良いか考えることができた。他の地域の取り組みで三次市でもできそうなものもあったのでしてみたい。



兒櫻さん

問題の規模を小さくすれば効果があるかも？長い時間をかけて丁寧に対策したいです。



下岡さん

三次市内での取り組みやその効果、そしてこれからどのような取り組みが大切なのか分かりました。



井上さん

今までのことをまとめてみると、環境会議に入る前には知らなかったことが結構あるのだなと思いました。

※「サステナアンバサダー」とは、みよし未来環境会議に参加している市内の中学校、高校に通う生徒8名のことです。